

新

潮

校訓

郷土を愛し
明るく素直で
たくましく

文責：校長 川内康範

「道徳」公開授業

参観ありがとうございました。

5日(火)「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取組のひとつとして「道徳」公開授業を行いました。参観いただいた保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

1年生は「新しい命の誕生」と題した授業でした。新生児人形を実際に抱いて、その重さを実感し、尊い命について改めて考えることができました。2・3年生は「生きるとは」と題した授業でした。全校合唱で歌っている「今日もひとつ」の詩を書いた星野富弘さんの生き方を通して命について深く考えることができました。



なぜ、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」?

4日月の校長講話の一部を紹介します。

◎ 時間は元に戻らない!命は元に戻らない!

長崎県で起きた3つの事件では、当時4歳の男の子、小学6年生の女の子、高校生の命が奪われました。事件さえなければ、今頃明るい笑顔を見ることができたはずですが、それはもう叶いません。当たり前のことですが、時間は元には戻りません。命は元に戻りません。あ
のとき、ああしていれば、と後悔してもどうすることもできないのです。

この季節、海での事故もたくさん起きています。先日、水難救助・救急法講習会を受けましたが、みなさんが、AEDを使われるような側には絶対ならないでほしいと思います。気をつけておけば避けることができた事故がほとんどです。「こうしとけばよかった」と後から後悔しても何にもなりません。後悔しない方がいいように、十分気をつけなければなりません。
もう一度言います。「命」は元に戻りません。

◎ 学校で育てる力

ニュースを見ていると、毎日いろんな事件が報道されています。殺人事件も起きています。行動に移す前に、思いとどまることができなかつたのでしょうか。

有名人が薬物を使ったということで逮捕される事件も後を絶ちません。薬物を使うことはなめだとかわかっていても、使ってしまったのはなぜでしょうか。その人を薬物に引き寄せる何かがあったのでしょうか。この場合も、行動に移す前に、とどまることができなかったのでは

ようか。

残念ですが、人間はこのような性質を持っているのですから、自分の弱さを知り、毎日の生活の中で自分を見失わないようにしなければなりません。それには「我慢強さ」と「正しい判断力」が必要です。

考えてみると、皆さんが学校で取り組んでいることは、この「我慢強さ」と「正しい判断力」を育てているといえます。朝から走ることで、毎時間の授業、合唱の練習、生徒会推進委員会などの活動、部活動……。きついなあと思うこともあると思います。考えて難しいなあと思うこともあるでしょう。でも、それが、皆さんを成長させています。間違いありません。今頑張っていることで「生きぬく力」がついています。

◎ 悩みについて

そうはいっても、調子がいいときばかりではありませんね。私たちは、いろいろなことで悩むこともたくさんあります。体のこと、勉強のこと、家族のこと、友だちのこと、などなど。もしみなさんが、「心がぎゅゅと痛い」「涙が止まらなくなってしまう」とか「誰も私のことをわかってくれない」など、つらいことがあったら、ぜひ相談してください。「誰かに相談できる」ということも、生きていく上で素晴らしいことだと思います。このことも、忘れないでください。

鶴崎先生が「国際公募アート未来展」で内閣総理大臣賞を受賞されました。おめでとうございます!

